

第1章

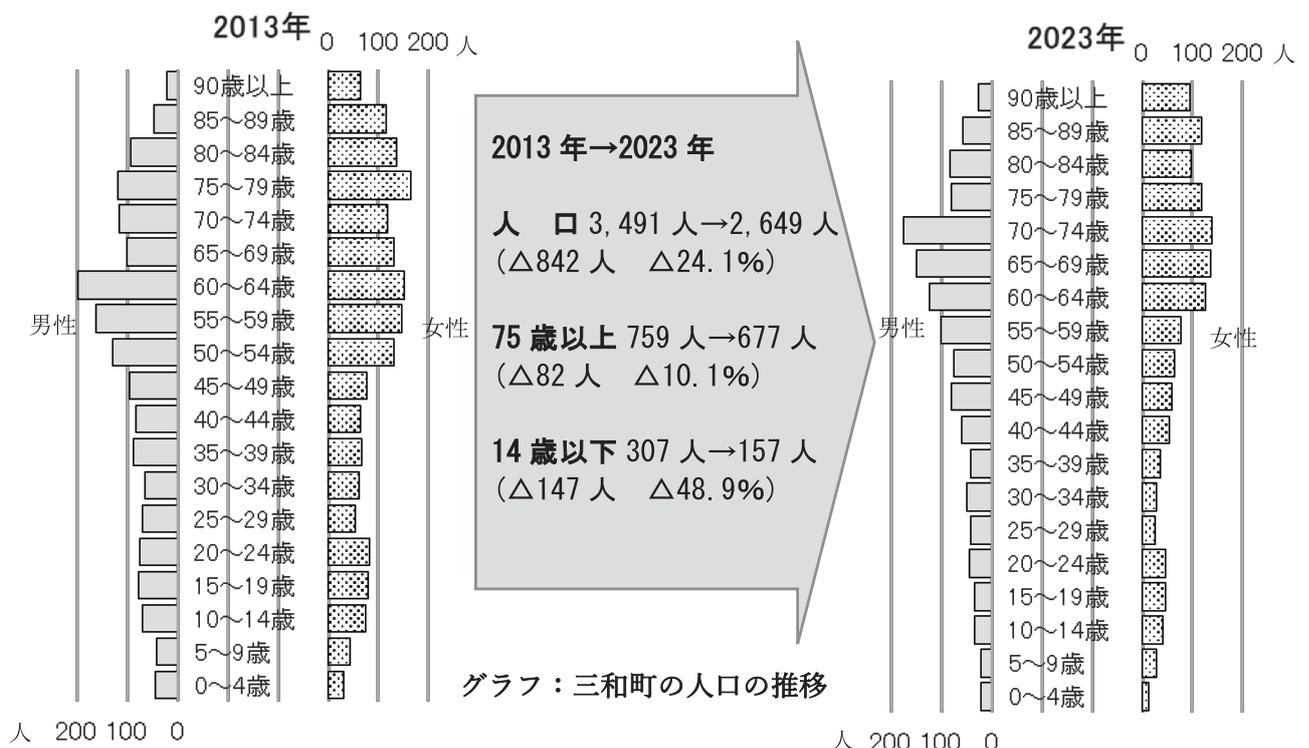
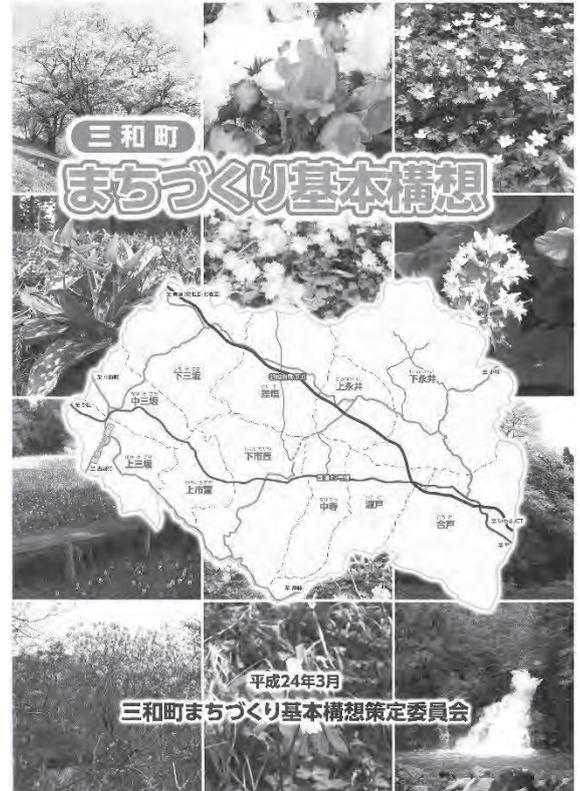
構想の基本的考え方

1. 構想策定の趣旨

これまで三和町地域振興協議会では、「三和町まちづくり基本構想」を平成24年3月に策定し、基本目標である『「自然が輝き・人が輝き・まちも輝く 三和の里づくり」～春は花、夏は星、秋のもみじ、冬の人情、いっしょに住まんしょ三和のまち～』の実現に向け、まちづくりに取り組んできました。

当該構想の策定から10年以上が経過し、少子高齢化や人口減少の問題など引き続き取り組んでいく必要がある課題のほか、脱炭素社会に向けた動き、社会経済の急速な変化や相次ぐ自然災害など、新たな課題も浮上しています。

こうした情勢を踏まえ、三和町のまちづくりを進めていくことが必要になっていることから、今後の三和町の目指すべき方向性を明確にするため、今回新たな「第2次三和町まちづくり基本構想」を策定するものです。



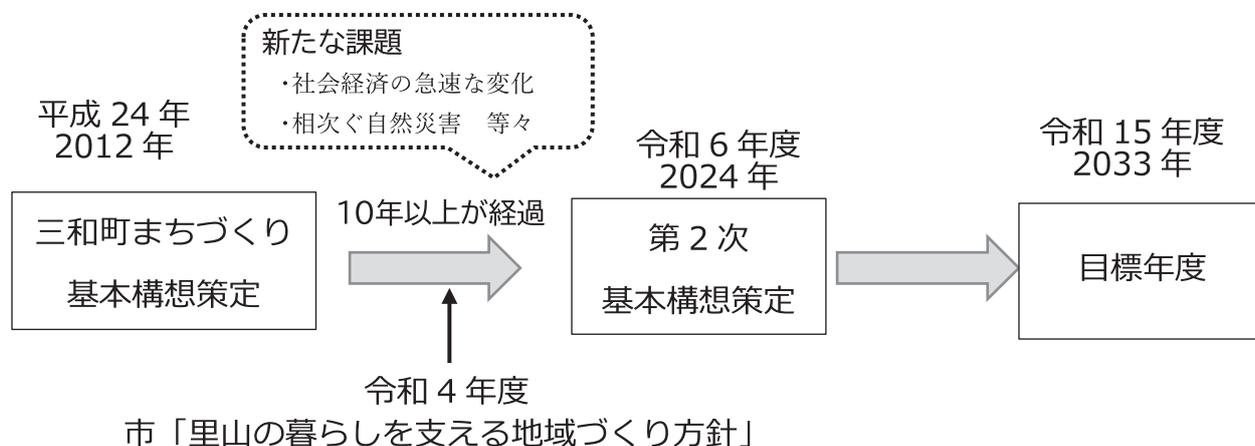
2. 構想の期間

構想の期間は、令和6年度（2024年）を初年度とし、令和15年度（2033年）を目標年度とする10カ年の構想とします。

なお、三和町を取り巻く情勢等に大きな変化があった場合は、構想の見直しについて弾力的に対応していくものとします。

3. 構想の位置づけ

本構想は、三和町の実情に即し、地域に根差し、まちの特色や独自性を活かす形で策定していますが、市が令和4年度に「里山の暮らしを支える地域づくり方針」を策定したことを踏まえ、本構想についても市の方針と整合を図っています。



4. 構想の構成

本構想は3層構造であり、重点的に実施する施策に限定した記載とすることとし、明確でわかりやすい構想としています。

【本構想の構造】

